

(一社) 日本実験動物技術者協会 関東支部
令和 6 年度総会・第 50 回懇話会開催のご案内

(一社)日本実験動物技術者協会関東支部では、下記の通り、川崎市産業振興会館にて令和 6 年度総会および第 50 回懇話会を開催致します。

本年度は「**多方面から考える実験動物の繁殖**」をテーマとし、現地およびオンラインでのハイブリッド開催を予定しております。近隣遠方に関わらず、多くのご参加をお待ちしております。

近年の生殖工学や遺伝子工学、発生工学技術の発展により多くの遺伝子改変動物が生み出された結果、研究ごとの小規模な自家繁殖が増えているように感じております。しかし、遺伝子改変動物ごとの特性に対応した繁殖は困難であり、その繁殖に問題を抱えている技術者や研究者は多くなったのではないかと推測します。

そこで本懇話会では、様々な分野、視点からの知識を得ることを目的とし、実験動物の幅広い分野から先生をお招きして【**繁殖**】をテーマにご講演を行って頂くことを企画いたしました。

また、実験動物における繁殖効率の改善は研究を促進するだけではなく、動物福祉へも貢献できる重要なポイントであると考えます。本懇話会が、皆様の今後の実業務や研究活動における繁殖効率の改善に繋がる一助となれば幸いです。

テーマ：「多方面から考える実験動物の繁殖」

【特別講演】

「展示施設への生殖工学技術の利用と課題」

安齋 政幸 (近畿大学 先端技術総合研究所)

【シンポジウム】

～REG 部会共催～

「交配を介さない迅速なマウス作製技術 ～ES マウスで研究がスピーディーに！～(仮)」

亀井 亮 (東京大学 ニューロインテリジェンス国際研究機構)

～中動物部会共催～

「コモンマーマセットの繁殖と飼育 (仮)」

齋藤 亮一 (国立精神・神経医療研究センター)

～実験動物福祉部会共催～

「インヒビン抗体を用いた生殖工学作業および繁殖成績の効率化 (仮)」

持田 慶司 (理化学研究所 バイオリソース研究センター)

～飼育技術部会共催～

「Chst14 遺伝子欠損マウスの出生率改善方法の検討 (仮)」

嶋田 新 (信州大学 基盤研究支援センター)

～動物実験基本手技共催～

「iPS 細胞研究所のマウス作製支援 (仮)」

田中 彰人 (京都大学 iPS 研究所)

～微生物統御共催～

「繁殖と感染症 (仮)」

林元 展人 (公益財団法人実中研)

※シンポジウムの順番は前後する可能性もございます。

大会長：大野 怜一郎（東京大学 医学部附属病院 CRC 発生工学センター）

会期：2025年3月1日（土） 10:00～18:00（9:30 受付開始予定）

開催形態：川崎市産業振興会館（川崎市）での現地開催
および ZOOM ウェビナーによるオンライン聴講のハイブリッド形式
※オンライン聴講には、事前申込が必須です。

参加費：会員 3,000 円（事前） 5,000 円（当日）
非会員 4,000 円（事前） 7,000 円（当日）
学生 1,000 円

情報交換会：参加費 5,000 円（終演後、川崎市産業振興会館 4F にて開催）

参加登録：参加申込受付中（～事前申込は 2025 年 2 月 4 日（火）まで）
関東支部 HP より <http://www.jaeat-kanto.jp/50thmeeting.html>